

## 【電気】

### ◎主な配属先、業務内容

#### ■本庁

### 公営企業課

- 県が運営する工業・水道用水供給事業、下水道事業の施設整備（改修・更新・増設）
- テクノポート福井の産業用地の造成についての基本計画（料金・財源・組織・人材等）を策定
- 計画に基づき、公営企業の安定した経営を図り、県内産業の発展や住民生活の向上に貢献



坂井地区水道管理事務所全景

#### ■出先機関

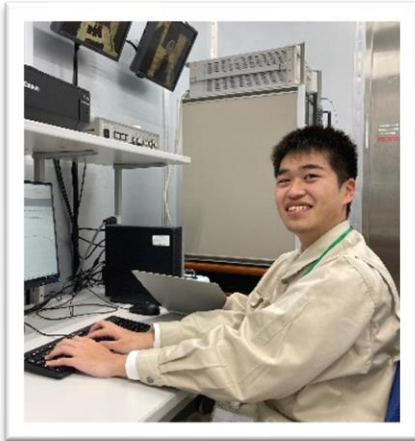
### 水道管理事務所（福井臨海工業、日野川地区、坂井地区）、浄化センター

- テクノポート福井等の企業向けの工業用水道・下水道施設、また日野川地区（越前市、鯖江市、福井市、南越前町、越前町）および坂井地区（坂井市、あわら市）の市町向けの水道用水供給施設の維持管理や整備・改修の設計・監督等を行い、企業の発展と住民の生活を支えています。



福井臨海工業用水道管理事務所 中央監視制

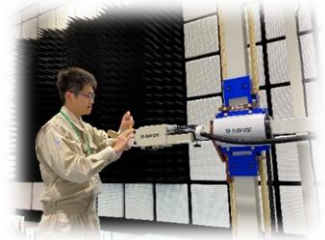
## 【電気】令和3年度採用



## 工業技術センター

# 千代 大河

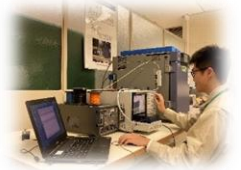
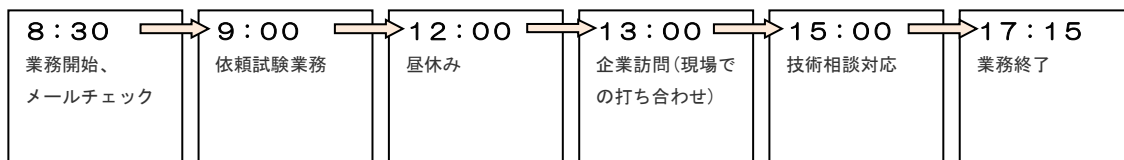
(福井大学 工学研究科電気・電子工学専攻 修了)



### 【主な担当業務】

- 電子材料、デバイスの研究や指導、県民衛星プロジェクトに関する業務
- 県内企業からの依頼による電子部品の測定や、技術相談への対応

### ◎ある一日のスケジュール



### ◎福井県職員を志望した理由

大学で学んだ知識を活かした職業に就きたいと考えている中で、**水道事業や建築、防災など幅広い分野で地元福井に貢献できるという点に魅力**を感じ、福井県職員を選びました。

### ◎仕事をはじめて感じていること

はじめは、センターにある試験・評価機器の使用方法を覚えることや、企業の方からの技術相談への対応など多くの業務に追われ、私にこの仕事が務まるのか不安でした。しかし、**グループの上司や先輩のご指導もあり、少しずつできる仕事が増えたことで自信**につながりました。**企業の課題解決や新製品開発に携わることができることにやりがい**を感じています。

### ◎魅力・やりがい

福井県では、**水道用水供給事業や県有建築物の設計・維持管理、防災さらには試験研究など多様な分野で電気職が活躍**しています。そのため、様々な内容の業務に携わることができ、多くの経験を積むことができます。**県民の生活を支え、地域産業の発展に貢献でき、自身も成長できる魅力ある仕事**だと思います。

### ◎採用試験対策

1次試験では公務員試験の過去問を中心に勉強しました。過去問は出題傾向を掴むうえで大切です。教養試験では、数的処理や判断推理など出題数の多い分野を重点的に勉強し点数をとれるようにしました。専門試験に関しては過去問を解くなかで苦手な分野を見つけ、大学での講義を復習することが効率的だと思います。面接対策としては、早めから練習を繰り返し行い慣れていくことが大事だと思います。2次試験では**TOEICの点数で外国語資格加点**もあるため、**余裕があればTOEICの勉強もすると合格に一步近づく**と思います。

### ◎後輩たちへ一言

**県職員は責任もあり大変な仕事**ですが、**その分地域に貢献できるというやりがい**もあります。公務員の技術職も選択肢の一つとして考えてみてください。**福井県職員としてみなさんと一緒に働けることを楽しみにしています！**

## 【電気】令和3年度採用



## テクノポート福井浄化センター

### 内田 健太

(金沢大学 理工学域電子情報学類 卒業)



#### 【主な担当業務】

- ・検針や電気計装設備をはじめとするテクノポート福井浄化センターの設備修繕の設計
- ・各企業の届出対応

### ◎ある一日のスケジュール

8:30 業務開始、 メールチェック	8:45 グループで一日 の業務の確認	9:30 企業からの届出 審査	12:00 昼休み	13:00 工事設計書・ 資料作成	16:00 工事の現場確認	17:15 業務終了
--------------------------	---------------------------	-----------------------	--------------	-------------------------	------------------	---------------

### ◎福井県職員を志望した理由

福井県は、令和6年春に北陸新幹線の敦賀までの開業予定があり、活性化が見込まれる中、地元産業の発展に広く携われる仕事をしたいと思い探していたところ、**県のホームページで福井県長期ビジョン**が掲載されているのを見ました。そこには**福井県が目指す将来像**が記載されており、この**大きな目標の達成を目指しながら地元に貢献できる魅力的な職業は県職員しかない**と思い、選びました。

### ◎仕事をはじめて感じていること

実際に仕事に就いてみると、**大学で学んだ知識がそのまま通用するわけではないことを痛感**しました。さらに、**浄化センターでは、排水の浄化処理方法や付属する機器設備および関連する法令の把握**など、大学では学ばなかったことを理解する必要があり、**勉強の日々**です。

### ◎魅力・やりがい

福井県では、私の所属する浄化センターでの下水道事業を含む公営企業（上水道、工業用水道事業）、公共建築物の設計監理、防災通信設備の維持管理など、**幅広い分野で県民の暮らしや産業を支えるために電気職職員が重要な役割**を果たしています。**エッセンシャルワーカーとしての誇りを持ちながら業務に取り組むことができるのが電気職職員の魅力**であり、やりがいだと思います。

### ◎採用試験対策

大学で行われている公務員講座を利用し、そのテキスト中心に勉強しました。教養試験に関しては、市販の問題集の種類が豊富なので、そちらを利用してよいと思います。専門試験に関しては、参考書の種類が少なかったため、**1冊の参考書を使って何度も学習**しました。問題の中身は大学で勉強したようなことばかりなので、のめりこみすぎず幅広く学習するとよいと思います。面接については、公務員講座で開かれている面接対策に参加したり、私は口下手なので自分の部屋で自主練習をしたりしていました。**面接は練習を積み重ねることが大事**だと思います。

### ◎後輩たちへ一言

上でも述べたように、**電気職は幅広い分野で重要な役割**を果たしています。**自分の専門分野を活かしたい人はもちろん、福井県のために様々な分野で仕事に取り組み、多くの経験を積んで活躍してみたい人は、ぜひ福井県の電気職に！**